

社会福祉法人能代ふくし会
能代地域生活支援センター
放課後等デイサービス支援プログラム

作成日：令和6年10月24日

事業所理念	<p>利用児童の意志及び人格を尊重し常にその立場に立った、放課後等デイサービスの提供に努め、利用児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應できるよう支援をします。また、地域及び家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業所、保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との連携に努めます。</p>
サービス提供時間	<p>授業終了の場合 午後1時00分から午後5時30分 休業日の場合 午前8時40分から午後5時30分 ※上記の他、当該事業所の行事又は緊急対応等によってはこの限りではない。</p>
営業時間	午前8時30分から午後5時30分
送迎の実施の有無	<p>☑ ・ 無 ※車輛運行計画に基づき、各学校に迎えのみ実施。</p>
職員の質の向上	事業所内研修の実施や、外部研修への派遣等
主な行事等	<p> ≪春≫ ・お花見  ≪夏≫ ・リトミック ≪秋≫ ・ハロウィン  ≪冬≫ ・クリスマス会 ・音楽療育 ・卒業、進級を祝う会  ≪その他≫ ※避難訓練 ※所外活動（散歩、買い物体験、おでかけ等）においては随時実施 </p>

社会福祉法人 能代ふくし会
能代地域生活支援センター
〈放課後等デイサービス支援プログラム〉

～療育理念～

○子どもが安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、社会で生き抜く力を得るための糧となるさまざまな遊びや体験活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高め、子どもが本来持っている主体性や想像力を発揮できるようにする。
○障害の特性や発達の段階に応じて、子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させていくこと。

～提供形態～

本人支援

- ライフステージに合わせた支援**
児童期・思春期の発達の特性を理解して関わります。肯定的な印象で次の段階へ繋がられるよう支援します。
- 未経験と誤学習**
未経験要素がないよう体験的な遊びや活動を通して、成功や失敗を体験できるようにし、間違っただけの行動を正しい行動と誤って学習することを防ぎます。
- 二次障害の理解に対応する**
「予防」という支援で関わります。生じている場合は発生要因を把握し、代替え手段の獲得や学習の促進を図り軽減に努めます。

家族支援

- 様々な出来事や情報で揺れ動く家族をライフステージを通じてサポートし、安心して過ごせる多くの居場所を持つよう対応します。
- 事業所での様子を伝え、家庭で取り組んでもらいたい取り組み等があれば、その都度家族と情報の共有を行います。
- 保護者同士がつながりをもてる機会を設定します。必要に応じてきょうだいへの支援も併せて対応します。

地域支援・移行支援

- 学校と連携し、事業所との間で情報の共有を行います。
- 日常的な連携に加え、個別の教育支援計画と連携するなど共通理解の下で支援します。
- 複数の事業所を併せて利用されている方に対して支援内容の相互理解に努めます。
- 公共施設の利用を通して社会体験の機会を設けます。
- 事業所全体で取り組む催しなど、子ども達が参画できるようにしています。

～支援内容～

構造化・視覚支援

次は 何をするのか
いつ
どこで
環境や活動、スケジュールを視覚的に示すことで見通しを持ち、安心して行動できるようにしています。
いつになったら終わるか
どのように
なにを

ABA（応用行動分析）

子どもの行動には目的・意味があります。

行動のきっかけ → 行動 → 行動の結果

3つの行動に分け、行動そのものだけでなく行動の前後の様子を含めて考えます。環境を調整することで行動も変わり、不適切な行動を減らし適切な行動が増えるよう支援しています。

ほめられて嬉しい

自立課題

初めから終わりまで一人で取り組むことができるよう、個々に合わせて設定しています。「できた」という達成感を感じ自信につなげること、手先の運動や将来の生活に役立つスキルを身につけること、余暇時間を広げていくことなどを目的に提供しています。また、課題をとおしてコミュニケーション方法や人との関わり方についての理解を深めます。

例：プットイン、マッチング、分類、身辺自立（ボタンや箸等）、学習課題（文字や数字等）
SST（対人関係などの困難を減らして社会生活を送りやすくするトレーニング）

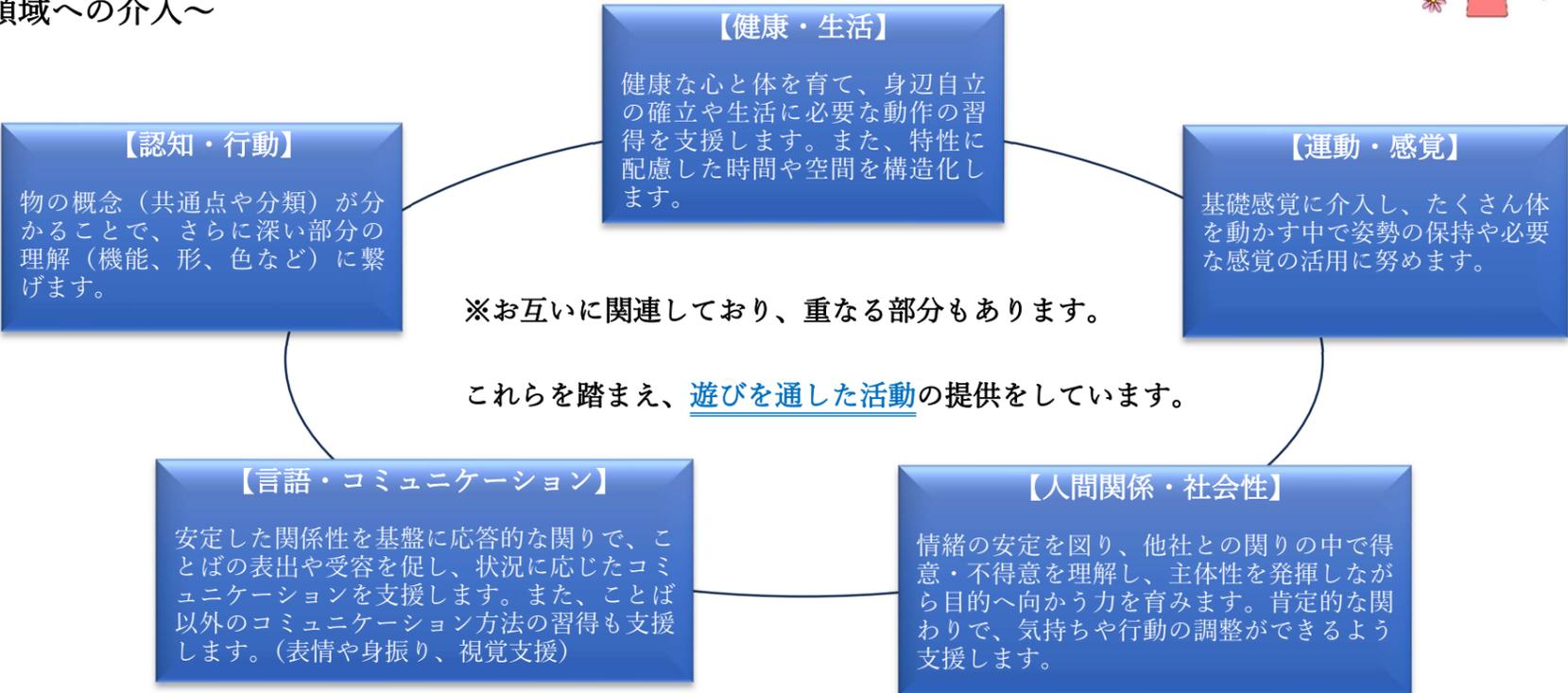
社会体験

公共施設を利用し、体験を通してルールやマナー、自分で選択する力やお金の使い方などを学びます。また、クッキングを通して、子どもが主体的に考え参加できる機会を設けています。

音楽療育・リトミック（外部講師）

さまざまな楽器や音楽に触れることで、感情を表現することやコントロールすることで創造性、注意力、集中力を育みます。

～5領域への介入～



提供形態

支援内容

取り組み方法

目指すもの

療育理念



地域社会で安心して過ごし、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう自己肯定感や主体性を育む。
コミュニケーション力の向上を図り、意思表示、自己選択自己決定ができる。
情緒が安定し、人への安心感と信頼感が持てる。

